

事業所名

Hi- Nique !

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

1日

法人（事業所）理念	子どもたちの最善の利益を大切に、一人ひとりの個性を尊重します。 一人ひとりの発達段階に応じて適切な支援を行います。						
支援方針	一人ひとりの発達過程を踏まえ、自立に向けた「生活力」を身につけられるように、学校や家庭では学びの機会が限られがちな調理活動を主軸として五感に働きかける活動を大切にしています。						
営業時間	11時	15分	20時	0分	まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ・手洗い・消毒など、衛生的な観点をもち、視覚的支援などの環境調整や適切なタイミングでの声掛けをします。 ・食事場面における実際の調理活動全般（準備、片づけ含む）について一つ、ひとつの工程に丁寧に取り組み、実施の際は基本的にマンツーマン支援としますが、できる部分は見守り主体的に取り組んでいただくことをサポートします。 ・自身の体調管理について、ご家庭と連携して伝達できるような枠組みを整えます。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行時や座位の正しい姿勢を意識し保持する時間と楽な姿勢でリラックスする時間のとメリハリをわかりやすく、場面毎に伝えます。 ・日常生活に必要な基本動作を通じて、できることは自信を持って取り組み「できた」ことを増やせるように「できる」ことの精度を上げていきます。 ・空間を意識した言葉かけを行います。物の位置や方向などを具体的に示す言葉で伝えます。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・行動に移せるように、ゆっくり、わやすい言葉、身振りやカードを用いて伝えます。 ・嬉しい気持ちや困ったときには、言葉だけでなく、身振りや手振り、肩をトントンと叩いて呼ぶことでもOKと伝え方の選択肢があることを伝え、伝えやすい方法を見つけ、まずは自分の気持ちを発信できる、しやすい環境を整えます。 ・行動できたことの成功の有無ではなく、自分で行動する楽しさを共有し、うまくいかない時も「大丈夫！」とチャレンジしたことを評価し、次のチャレンジに繋がるように見守り信頼関係を構築します。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・意思の疎通をスムーズにするために、安心して過ごせる環境を整えます。 ・他者に興味や関心を持ち、コミュニケーションを取る楽しさをご本人の好きなことを通じて一緒に見つけます。 ・指差しや身振り、サイン、表情や目の動きを活用します。近すぎず、遠すぎず適切な距離感を保ちながら信頼関係を築いていきます。 ・言葉や表情、ジェスチャーで「嬉しいこと」や「苦手」である自分の気持ちを相手に正しく伝わった時の嬉しさを体感できるように、ご本人と一緒に伝え方を見つけます。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して過ごせる集団の中で過ごすためのルールを理解しながら、その都度、振り返り、伝え方や適切な距離感を確認していきます。 ・相手の気持ちは自分と違うことに気づき、いろいろな気持ちがあることを知る。相手の気持ちを想像できる環境と場面を設け、自分の気持ちを伝える練習をします。 ・見通しを伝え、納得して取り組めるように変化する気持ちを理解しながら促し、集団の中でのルールや自分の役割、コミュニケーションの向上を目指します。 					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に活動を楽しむイベントの実施 ・ペアレントトレーニングの実施 ・保護者会の実施 				移行支援	・保護者との面談	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方にも参加していただけるイベントの実施 				職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修 ・放課後等デイサービス地域別研修会 ・こども部会への参加 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展（活動制作の展示、ワークショップの開催） ・音楽会の実施（職員の演奏による生演奏会） ・クリスマス会 						